

士別市まちづくり懇談会（上士別地区） いただいたご意見

■日時：令和 7 年 7 月 31 日 午後 6 時から

■会場：上士別構造改善センター大会議室

■市参加者：渡辺市長、泉山教育長、大橋総務部長、三上市民部長、東川健康福祉部長、坂本経済部長、藪中建設環境部長、丸生涯学習部長、池田経営管理部長、増田企画課長、萩田企画課副長、企画課職員

■市民参加人数：5 人

（1）総合計画の基本的な考え方について【資料 1】

■ご意見等無し

（2）持続的なまちづくりについて【資料 2】

■ご意見 1

- ・耐用年数を理由に廃止する施設がある一方で、誰が見ても古い総合体育館や、老朽化がひどい東高等学校の計画が「継続協議」となっているのはなぜか。もっと目に見えて古いものから手をつけるべきだ。「協議中」のまま何年も先延ばしにされるのは困る。
- ・結局、陸上競技場やジャンプ台のように「合宿の里」という名目がある事業が優先されているように見える。市民が本当に身近に感じるものを大切にしてほしい。廃止や縮小の話だけでなく、新しいまちづくりのビジョンを積極的にアピールしてもらいたい。

■回答 1

- ・総合体育館や東高等学校についても、もちろん大きな課題として認識している。現在、総合計画を策定するまさにその作業の中で、具体的な取り組みや実施時期を検討している段階である。11 月に開催予定の第 3 回懇談会で、新しい事業や施設のあり方を含め、より具体的な計画をお示しできるよう進めたい。

■ご意見 2

- ・施設の統合で朝日地区などへの移動が必要になるが、ちょうどバス運賃の値上げが予定されている。車を運転できない住民にとって、往復で数千円の負担増は厳しい。移動手段についてどう考えているのか。今のバスは空気ばかり運んでいるように見える。もっと小型化して、柔軟な運行はできないものか。そもそも、以前バスに乗ろうとしたら定刻に来なかったこともあり、利便性にも課題がある。

■回答 2

- ・「バス路線の維持を望む声が多いことは認識しているが、非常に難しい問題だ。高齢者向けの敬老パス（100 円）は維持するが、それ以外の方の負担は大きくなる。バス会社の経営も厳しく、すぐに解決策を示すのは困難だが、皆様の意見を伺いながら、小型化も含めて今後のあり方を検討していく。